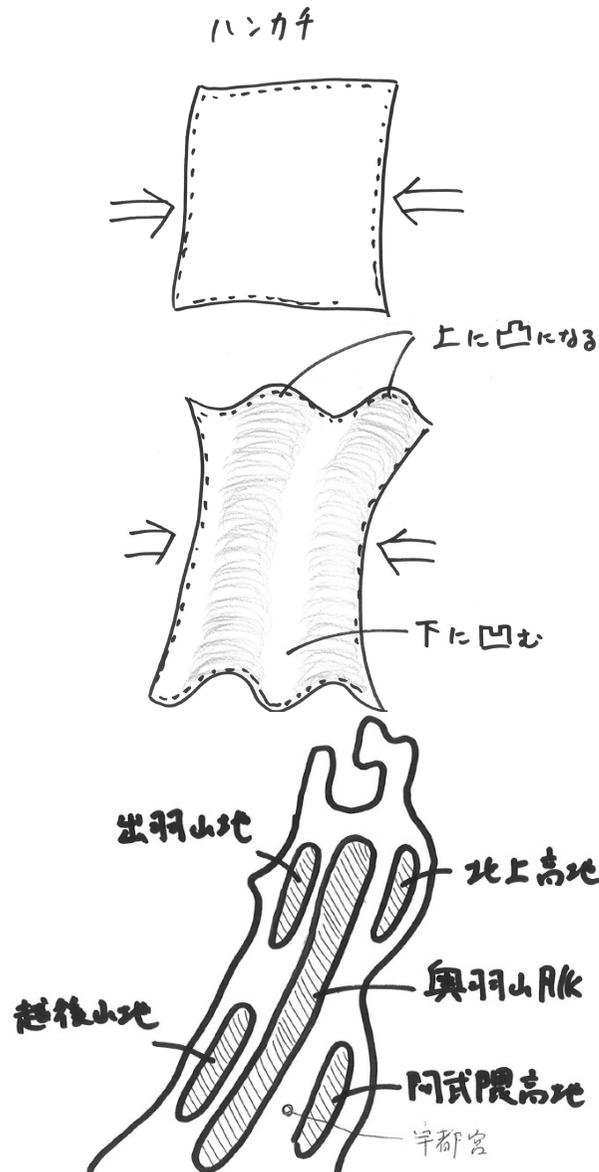


宇都宮の地形・地質・気象概説

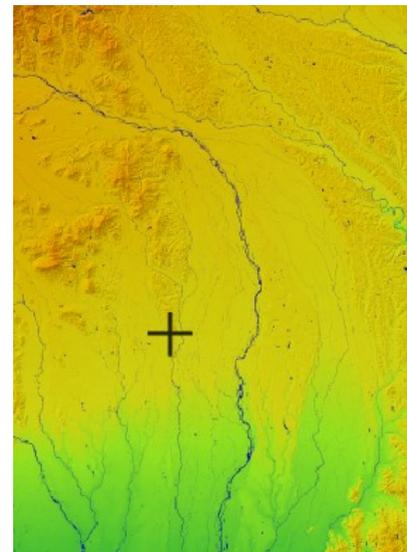
坂戸高校:コグレ

◆**地形概説** まず基本中の基本。東北日本の大地形は、つまんだハンカチで説明できる。ハンカチを左右両側からつまむと、縦方向にしわができる。上に凸になったしわが山脈、下に凹んだしわが長細い盆地になる。



宇都宮はこの凹んだ側のしわにできた、南北方向に細長い盆地に開けた都市。

◆**宇都宮の盆地の解説** 阿武隈高地の南部と奥羽山脈の南部に挟まれた南北に細長い盆地状の凹地に、北西から鬼怒川が流れ出してつくった、規模の大きい傾斜の



緩やかな扇状地が分布している。宇都宮の市街地はこの扇状地の上に形成されている。この扇状地は熊谷の市街地が立地する熊谷扇状地とよりも傾斜が緩いため、人のスケールでは低地に見えてしまう。また、ゆるい傾斜からか地表は粘土やシルトが覆っていて、土地利用は「田んぼ」が主となっている。

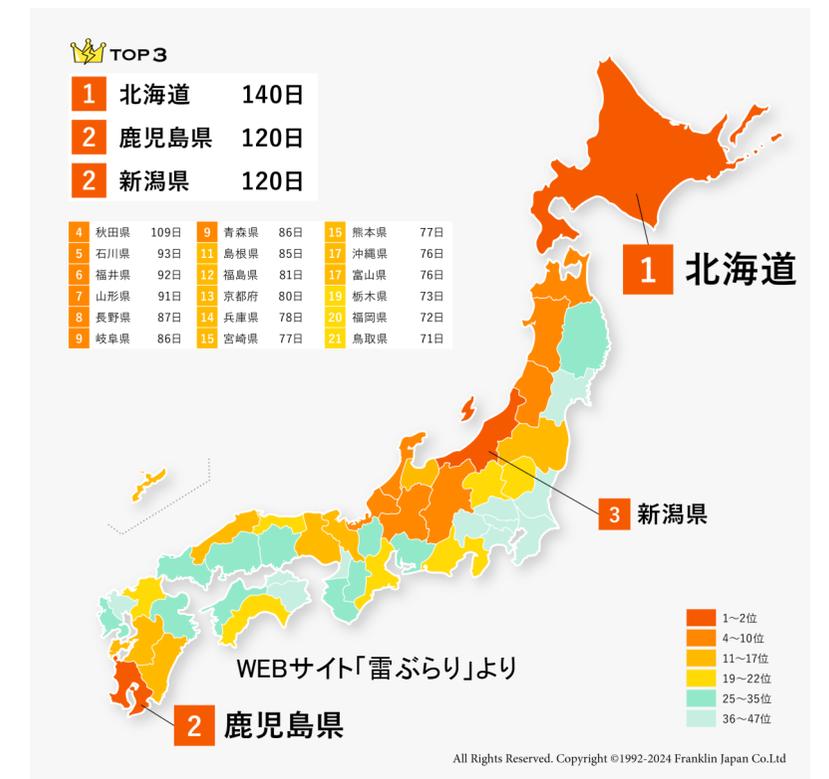
◆**河川流路の歴史** 鬼怒川は何回か流路が変わっている。およそ3万年前から6000年前くらいまで(最終氷期



最盛期から温暖期直前)は五行川筋を流れていた(図の東側の流路)。その後温暖期に入ると現在の流れになり、それ以来今の鬼怒川筋を流れている。もっと過去には北から流れてくる荒川との河川争奪があったかもしれないと考えられている。

WEBサイト「栃木県の地球科学」より

◆**宇都宮の雷について** 宇都宮は「雷都:らいと」と呼ばれている。※誰が? 宇都宮地方気象台によると、4-9月の雷発生日数は1991年からの30年間平均で24.2日と全国最多!近年のデータでの雷日数的には北海道や北陸(冬季の日本海側の雷)が多いけど、太平洋側では依然ダントツ(でも群馬もいい勝負)。



◆**ライトレールについて**

軽いライトや、明るさのライトではなく、まさかの、雷の雷光のライトが語源での命名。だからロゴマークもイカズチ型の意匠となっている(もちろんアルファベットのLでもある)。



芳賀・宇都宮 LRT
Haga Utsunomiya LRT